

早苗月 20 詠

# 紫陽花

たなか踏基



あずさえに  
なくした恋の  
わけを問ふ

紫陽花の  
群れて法師の  
琵琶の音

移り香の  
淡きを愛しみ  
濃紫陽花

惚れながら  
目醒める毬の  
七変化

坪庭の  
紫陽花恋ひを  
知らぬまま

少女から  
女の不思議  
刺繍花

明月院  
濡れて四葩(よひらの)  
毬飾る

鎌倉や  
かぜ紫陽花の  
色馴染む



色きざみ  
果つ紫陽花の  
追慕かな

あずさえに  
白き露おく  
別離かな

雨だれの  
曲紫陽花は  
シヨバ(シヨバ)好き  
前奏曲十五番「雨だれの曲」

紫陽花や  
失意の女  
信濃路へ

紫陽花の  
紅き扱きを  
解きながら

藍麩の  
湯中くくるや  
手毬花



あじさるや  
モツアルト聴く  
恋つかれ



紫陽花を  
紅く染めだす  
シメチヨリ

紫陽花の  
色移りきて  
しづく映え

紫陽花は  
露地の佳人と  
吐息の輪

あじさるは  
雨に差し出す  
季のたより

群青の  
そら紫陽花の  
夢を干し